

ALLOY 201 (UNS N02201)

特性

Alloy201 は苛性ソーダを始めとしたアルカリ溶液に優れた耐食性を示し、高純度のハロゲンガスや非酸化性酸にもよく耐え、苛性ソーダの濃縮溶液など、広範囲な分野で使用されています。

特に炭素の含有量を低くし、高温(315°C以上)における安定性があり、315°C以上で使用される機器などにも使用されています。

化学成分(%)

	Ni	Fe	C	Mn	Si	Cu	Mg	Ti	S
min	99.0								
max		0.4	0.02	0.35	0.2	0.25	0.15	0.1	0.01

機械的性質/物理的性質 比重 8.9g/cm³ 融点 1435~1445°C

0.2%耐力(N/mm ²)	引張強(N/mm ²)	伸び% (A5)	硬さ(HB)
≥80	≥345	≥40	95

(板—焼鈍)

耐食性

硫酸	塩酸	硝酸	アルカリ	塩類	海水
○	△	×	○	○	○

○ …良好 △…普通 ×…不可

該当規格

UNS N02201	JIS NW2201				
	板	棒	溶接管	シームレス	鍛造
ASTM	B162	B160	B725/730	B161/163	
ASME	SB162	SB160		SB161/163	

用途例

苛性ソーダ工業、電子部品、食品工業用機器及び塔槽類、熱交換器 など。

本データシートは参考資料であり、数値を保証するものではありません。